

大曲高等学校 校舎棟建設工事 工事だより

『 2月、冬も後半戦です 』



月日が経つのは早いもので新年を迎え一月が経過して2月となりました。昨年に迫る積雪や冷え込みが続き、雪に関わる作業、冬道の通勤・通学等皆様大変なご苦労かと存じます。当工事現場でも除排雪作業を行い、次の作業工程へと移る準備を日々進めております。暖かい春まであと少し。待ち遠しいところではありますが、体調を崩さないよう冬の後半戦を無事に乗り切りたいですね。



『 工事現場では今こんなことをしています 』

杭工事によって発生したセメントミルク混じりの汚泥を、適切な強度を持った土へと改良しまた再利用できるように処理をしています。汚泥のまま廃棄することなく、工事に使う土へと再資源化できるため地球にも優しいのです。現場での再生汚泥処理の状況をご紹介します。



①杭工事にて掘削液等を使用するため、セメントミルク混じりの汚泥が発生します。



②古紙を添加・混合して汚泥に含まれた水分を吸水します。



③今回使用する古紙破砕物です。新聞紙等の古紙からできています。これもまたエコですね🌱



④古紙の他にセメント系固化材も混合します。



⑤古紙を投入攪拌後、固化材を投入します。



⑥重機を使用して均一に攪拌していきます。

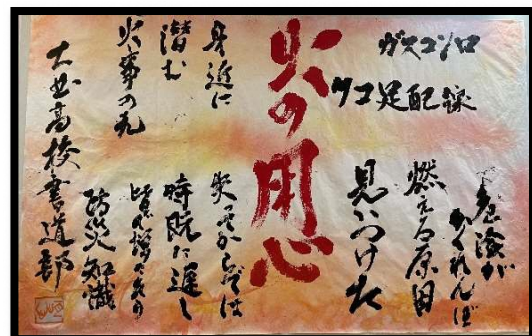


※重機に攪拌用の特殊なアタッチメントを装着しています。



⑦改良完了。工事に再利用可能な土へと生まれ変わりました。

『上空からの様子』※ドローンにて撮影（R4年1月末時点）



イオン大曲店にて大曲高校書道部作の巨大な『火の用心』を発見しました。書にある通り『失ってからでは時既に遅し』です。乾燥の時期でもあります、火災には十分注意をして日々過ごしたいと感じました。

当工事だよりは建築工事JVで執筆しています。
お気づきの点等ありましたら下記までご連絡ください。

大曲高等学校校舎棟（建築）工事 作業所
連絡先：代表 ☎ 0187-73-7740

